

佐久総合運動公園の基本設計の見直しを行いました。

1. 事業再評価について

佐久総合運動公園は、平成12年度の事業採択より10年が経過することから、昨年度（平成21年度）に「国土交通省所管公共事業の再評価実施要領」の規定に基づき、事業再評価を実施しました。

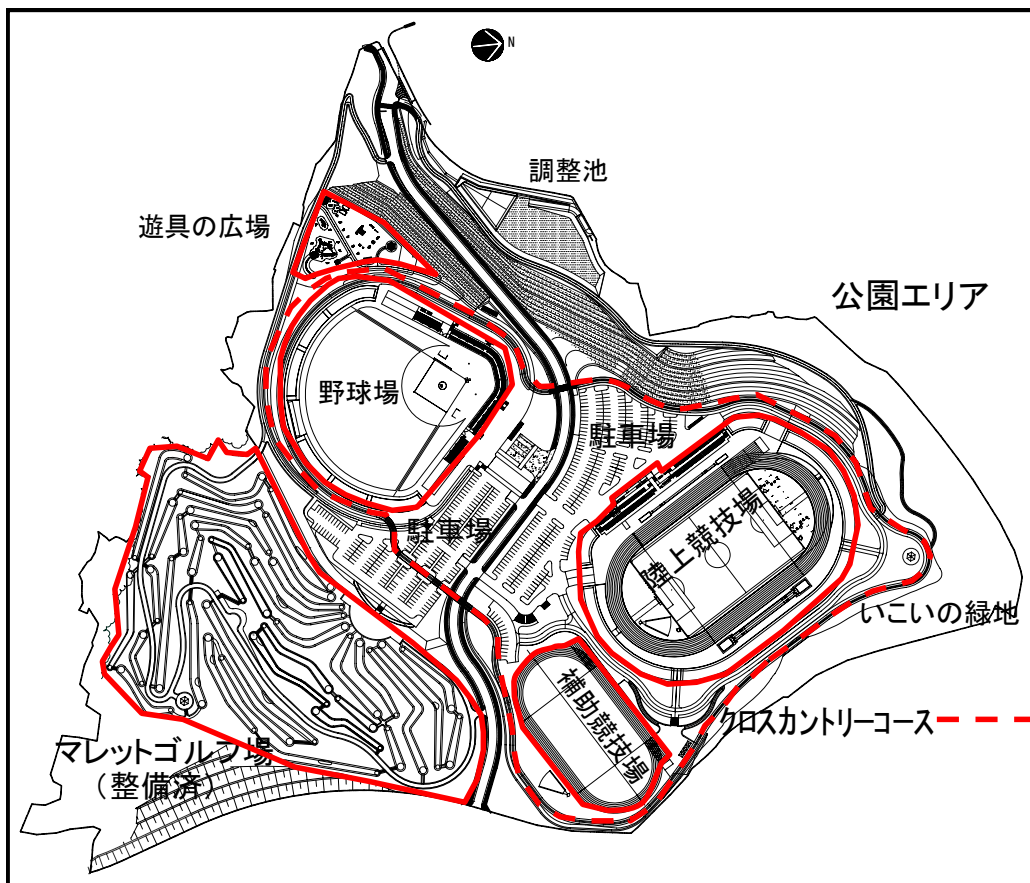
事業再評価の結果、事業の継続は「妥当」と判断されましたが、今後の整備にあたっては、国、県、市を取り巻く社会経済情勢が依然として厳しいことから、「コスト削減に努める必要がある」という対応方針が示されました。

この対応方針を受け、本年度に基本設計の見直しを行いました。

2. 見直し後の施設の概要について

佐久総合運動公園の基本設計の見直しに当たり、陸上競技場、サッカー場、野球場は、それぞれ第2種公認陸上競技場、日本サッカー協会の競技規則、硬式野球の公式試合が開催できる公認野球場の規格・基準を満たす競技施設とすることとし、佐久総合運動公園が、幅広い年代の市民の皆様や、競技者、指導者の皆様にとって利用しやすく満足いただける施設となり、また、年間を通して学生や各種競技団体等の合宿や練習等にご利用いただき、更なる交流人口の創出につながるよう、各種競技団体等の専門家の皆様をはじめ多くの皆様のご意見をお聞きしながら、再度、設置目的、利用形態、利用頻度を検証し、基本設計の見直しを行いました。

佐久総合運動公園 全体計画図



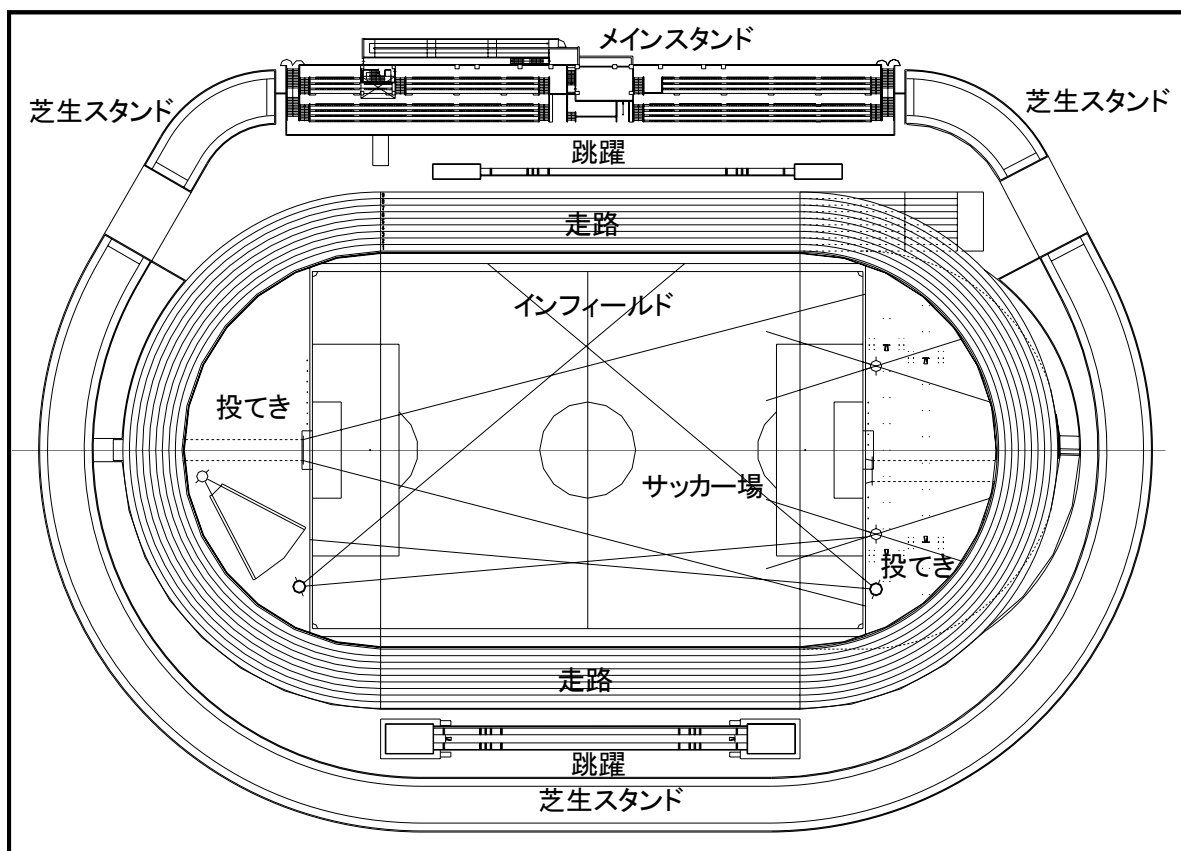
(図-1)

1) 第2種公認陸上競技場及び補助競技場の概要

第2種公認陸上競技場は、東信地域で初めての第2種公認陸上競技場となり、第2種公認の伊那市総合運動場陸上競技場、飯田市総合運動場陸上競技場に並ぶ施設となります。また、常設の照明設備を備えた第2種公認陸上競技場としても県内で初めての施設であり、さらに、300メートルトラックを備えた補助競技場を併設した第2種公認陸上競技場としても県内で初めての施設となります。

なお、第2種公認陸上競技場は、主にスタンドの規模、照明設備の照度の見直しを行い、また、補助競技場は、トラック1周の距離の見直しを行いました。(図-2参照)

第2種公認陸上競技場 平面図



(図-2)

施設概要

項目	見直し前	見直し後	備考
スタンド	収容人員：約10,900人	収容人員：約9,500人、	第2種公認陸上競技場の仕様の基準を満たす施設とする。
トラック	1周の距離：400m 走路：幅1.25m、9レーン 舗装材：全天候型舗装	変更なし	第2種公認陸上競技場の規格を満たす施設とする。
フィールド	フィールド：天然芝 投てき場、跳躍場 サッカー場：105m×68m	変更なし	第2種公認陸上競技場の規格及び日本サッカー協会の競技規則を満たす施設とする。
照明設備	1,500ルクス以上 (Jリーグ規約)	200ルクス	陸上、サッカーの一般競技が可能な照度とする。
補助競技場 (図-1参照)	1周の距離：200m 舗装材：全天候型舗装 フィールド：天然芝	1周の距離：300m 舗装材：全天候型舗装 フィールド：天然芝	補助競技場としてだけでなく、多様なニーズに対応できる施設規模とする。

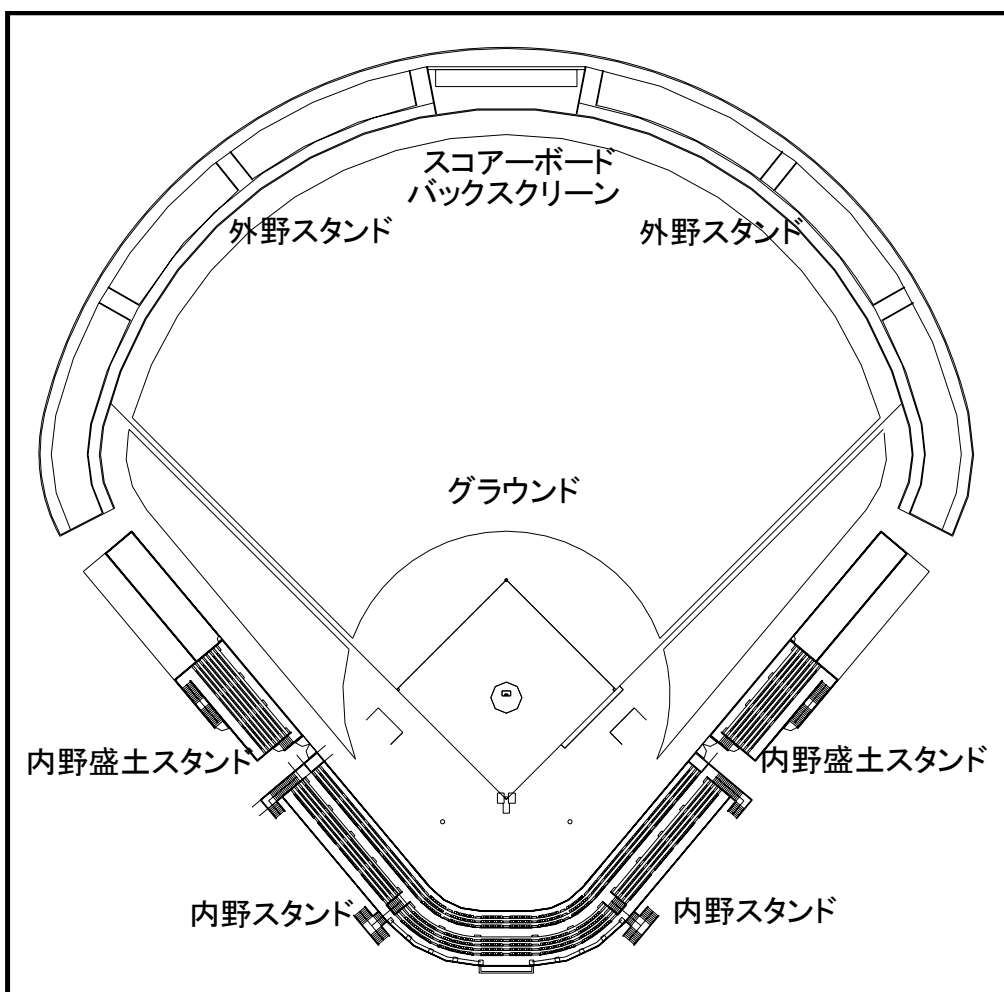
2) 公認野球場の概要

野球場は、硬式野球の公式試合が開催できる公認野球場の規格・基準を満たし、常設の照明設備を備えた施設を計画しています。東信地域の公認野球場としては県営上田野球場と並ぶ施設となり、グラウンドは、長野オリンピックスタジアムと同じプロ野球の規格の広さとし、常設の照明設備を整備しますので、ソフトボールからプロ野球までどのような試合や練習にも対応できる施設となります。

なお、公認野球場は、主にスタンドの規模、照明設備の照度の見直しを行いました。

(図-3 参照)

公認野球場 平面図



(図-3)

施設概要

項目	見直し前	見直し後	備考
スタンド	収容人員：約10,580人 内野スタンド：約2,400人 外野スタンド：約8,180人	収容人員：約8,100人 内野スタンド：約1,600人 外野スタンド：約6,500人	高等学校野球選手権長野大会等の開催に対応できる施設とする。
グラウンド	面積：14,000㎡ HB～両翼まで：99.1m HB～センターまで：122.0m	変更なし	プロ野球の規格を満たす施設規模とする。
照明設備	公式競技対応（硬式野球） 内野：1,500ルクス 外野：800ルクス	一般競技対応（硬式野球） 内野：750ルクス 外野：400ルクス	高等学校野球選手権長野大会等の開催に支障のない照度とする。（県営上田野球場と同等な照度）
スコアボード	磁気反転式	変更なし	

3) クロスカントリーコースの概要

陸上競技場に併設されたクロスカントリーコースは県下で初めての施設であり、クロスカントリー競技だけでなく長距離・短距離の練習や、あらゆるスポーツのトレーニングや耐力づくりの場として利用できる施設となります。

なお、クロスカントリーコースは、利用者の安全性、利便性を図るうえで、見直し前のクロスカントリーコースを散策路、ジョギングコースとし、新たに幹線園路（車道）との平面交差を回避し、効果的なトレーニングができるようコーナーや勾配にも配慮し、陸上競技の基準となる400メートルトラックの倍数の1周1,200メートルの専用コースを計画しました。（図一1 参照）

施設概要

項目	見直し前	見直し後	備考
クロスカントリーコース	コース：兼用コース （散策路と兼用） 距離：2,420m 舗装材：ゴムチップ舗装	コース：専用コース 距離：1,200m 舗装材：ゴムチップ舗装 （見直し前のコースは、散策路、ジョギングコースとして活用する。）	幹線園路（車道）との平面交差を回避した、専用コースとする。

～本公園の整備について、ご意見をお寄せください。～

本公園の整備につきまして、ご意見、ご感想がございましたら、下記までご連絡ください。

【お問合せ先】 市役所 公園緑地課 TEL 6 2 - 3 4 2 4 FAX 6 3 - 7 7 5 0

Eメール koenryokuti@city.saku.nagano.jp

